

牛原山と山麓遊歩道

(家族向・一般向)

松崎町のほぼ中央に標高236mの牛原山があり、山頂下に広がる一帯には町民が自然に親しみ、憩いの場として整備された町民の森がある。

ケヤキ、クヌギ、シイ、コナラ、カシ、マツ、オオシマザクラなど、およそ560種の草木があり、コゲラ、アカゲラ、ウグイス、メジロ、シジユウカラ、ジョウビタキ、キジバトなど約40種の野鳥が観察できる。

森の中には松崎の街と西海岸、富士山、長九郎山など天城の山並みが望める展望台、二つの芝生広場、梅園などがあり遊歩道で結ばれている。

歩程 約2時間55分

牛原山へのハイキングコースは5コースある。①伊那下神社から「長八記念道」を経て展望台まで延長650m、約60分のコース ②伊那上神社・円通寺から「絹の道」を経て展望台まで延長1200m、約45分のコース ③浄泉寺から「仏の小道」を通り相生堂跡の先で「絹の道」に合流して展望台まで延長1100m、約40分のコース ④伏倉から車道經由で展望台まで延長2100m、約1時間20分のコース。また、牛原山・南山麓の「金沢遊歩道」を上って展

望台までのコースもあり、このほか山裾をぐるりと半周して「重要文化財・岩科学校」まで行く「牛原山麓歩道」もある。

ここでは②の伊那上神社・円通寺から絹の道を経て展望台へ行き、金沢遊歩道を下って岩科学校を見学、山麓遊歩道をたどり伊豆の長八美術館へのコースを紹介。

コースの起点は松崎(ここまでの交通は松崎歴史の散歩道を参照)まずは那賀川にかかる宮の前橋を渡って伊那上神社を詣でて円通寺へ。円通寺では本堂横にある曲がり地蔵にさわってこよう。下半身の神様ボケ防止の神様としてご利益があるという。

山門を出て舗装された仏の小道をたどり、最初の四つ角を左に曲がり絹の道を上る。相生堂跡への道を右に見送るとスギが繁る山道となる。荒れた沢のような道から竹藪に入り、ジグザグと上ると松崎を一望する芝生広場に出る。

初夏にはアジサイが咲く斜面や展望台からの眺めを楽しんだら梅園へと向う。右に山口・岩科方面を見な

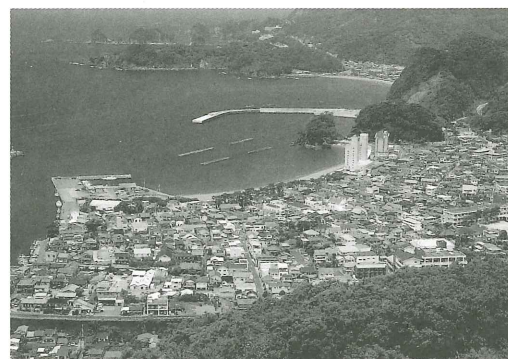
がら下ると金沢遊歩道の入口。ここを右へ下るのだが、少し先の梅園や芝生広場の丸高園地、野田越園地へも行ってみよう。お弁当を広げたり遊んだりするのによい広場である。岩科へは金沢遊歩道か、あるいは丸高園地のトイレの手前から下る。どちらも畑の作業道で枝道も多いが下に向って行けば牛原山麓遊歩道にぶつかる。左に行って重要文化財岩科学校へ寄って行こう。

重要文化財岩科学校は、なまこ壁を生かした社寺風建築形式とバルコニーなど洋風を取り入れた現存する伊豆最古の小学校である。明治時代の授業風景を等身大の人形を使って再現してあるほか、二階日本間の欄

間には入江長八の「千羽鶴」が描かれている。

また、年配者にはなつかしい古い農具や昔の教科書なども展示してあり興味深い。

山麓遊歩道か、あるいは岩科川沿いにある桜並木の花のジョギングコースを歩いて伊豆の長八美術館へ。岩科学校からバスの便もある。



▲牛原山の展望台から

■コースタイム(参考)■

伊豆急下田駅	バス 50分
松崎	15分
円通寺	15分
牛原山	45分
金沢遊歩道降り口	5分
金沢遊歩道登り口	30分
伊豆の長八美術館	30分
松崎	15分

